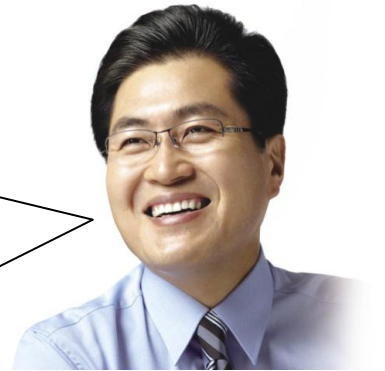


むたい俊介ニュース

第7号
発行元
自由民主党第二選挙区支部
長野県松本市白板 2-3-30
大永第3ビル

Tel : 0263-33-0518 Fax : 0263-33-0519
twitter: @mutaishunsuke
www.mutai-shunsuke.jp

ごあいさつ 2009年の政権交代選挙から早2度目の正月を経過しました。皆様には如何お過ごしのことでしょうか。私は、先の総選挙の教訓を糧に、日々地道な活動に励んでいます。厳しい経験を自らの将来に向けてのエネルギーに変換すべく、様々な思いを巡らしています。
政権交代後の政治の現状はあまりにもひどいように思われます。真の意味の政治主導とは専門家集団をきちんと使いこなす政治家の能力・資質が大前提であることを再認識しています。
来るべき「再政権交代選挙」に向け、頑張り続けることを御誓い申し上げます。今年も宜しくお導きください！



活動報告

「地域再生」を掲げて現場の声を聞く地道な活動

松本平を巡ってポスターを設置していたら側溝に転落、両足と左ひじに打撲傷を負った。その姿を見ていた市民から「支部長さんも大変ね」との激励を受ける。選挙とは、「有権者の方のお気持ちを頂戴すること」という言葉を、第2選挙区の先輩代議士の村井仁先生（前長野県知事）から頂いた。この言葉をかみしめながら、日々の活動を行っている。



女性看護師の皆様と意見交換

2009年の政権交代選挙から1年半が経過した。あっという間の1年半で、新人で落選した身の上の厳しさを現在進行形で実感している。



ポスター設置のため杭を打つ

日々接する有権者から「自民党にしっかりしてもらわなくてはならない。次は頑張れ」との激励の言葉を頂く一方、「まだまだ自民党は反省が足りない。徹底的に反省するまで野に居続けさせるからな」との厳しい指摘も受ける。

それでも、政権交代後の民主党の政権運営には、幻滅している有権者が多い。しかし、だから自民党に政権を戻す、というところに単純に行かないのが難しいところだ。

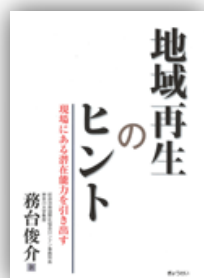
2010年の夏には、参院選、長野県知事選があった。私も全力で広い選挙区を走り回って応援した。参院選はわが党公認の若林健太氏がトップ当選したが、長野2区に限ってみると、衆議院総選挙時の私の得票率よりも少なかった。自民党の退潮傾向は変わっていないと言わざるを得ない。

国政選挙のように党派で争う選挙は有権者の支持政党の選り好みを問う度合いが強いのだが、今、自分にできるのは「地域再生」を掲げて、現場の声を聞く地道な活動だ。

村井仁元代議士が引退した後、空白期間があったこの選挙区に私自身は足かけ4年居住し、ようやく地に足のついた動きができるようになってきた。後援会組織も市町村・地区ごとに結成しつつ、広報板・ポスターの着実な設置、朝夕の街頭演説、ミニ集会、メルマガの毎週発行や各地での講演会など、近いと言われ出した総選挙に向けてやるべきことを積み重ねている。（「自由民主」第2431号 10面に加筆）

発売中の著書

「地域再生のヒント」
「高めよ！防災力」
ぎょうせい



写真ギャラリー



【高校書道部の皆さんと】



【街角の若者と将来を語る】



【野沢菜づけに勤しむ母娘と】



【農作業を終えた御夫婦と】



【江戸の歴史勉強会にて司会】



【毎朝の街頭演説】

私たちも応援しています！



唐沢俊二郎元代議士と



村井仁長野県知事（当時）と